

2023年度

科目名称	保育の指導法（言葉）
授業コード	AI303
英語名称	Teaching Methods for Child Care and Education 3 (Language)
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	前嶋 深雪 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	○幼稚園・保育所・子ども園での指導やねらいの領域の一つに「言葉の獲得に関する領域」としての「言葉」がある。保育者・教育者として、子どもの言語獲得の理解と知識を深め、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における「言葉の獲得に関する領域（言葉）」を解釈し、理解した上で、指導計画を作成するための知識を得る内容を持つ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	○小学校での「学び合い」の校内研究の講師・中学校及び高等学校の国語科教諭としての経験と、若者を対象としたコミュニケーション講座講師の経験で獲得した国語（日本語）の能力を高める手法を活用する。言語知識としての習得及び言語運用をしながら体験を含め、「楽しみながら学ぶ」授業展開をしていく。知識のインプットと表現のアウトプットをバランスよく授業時間内に配置し、主体的・対話的で深い学びの体感を持てるようにする。
到達目標	○子どもの言語能力をささえる保育・教育者に必要な知識として「日本語」及び「言語獲得」に関する知識を深めること、子どもの言語の獲得のプロセスについて理解すること、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における「言葉の獲得に関する領域（言葉）」の解釈及び理解をすること、保育・教育の場での指導計画を作成するための知識を得ることを授業の目標とする。 ○学科が定めるディプロマ・ポリシーに関する位置づけは以下のとおり。 【知識・技能】保育・教育の場や子どもの言語獲得として必要な国語（日本語）に関する学術的知識を理解し、子どもの育ちに即した教育及び保育方法を実践することができる。 【使命感・思考力】言語能力やコミュニケーションに関する言語の知識など保育・養育の場で必要となる技能や知見を身に付け、協働しながら、取り組むことができる。 【人間力・指導力】言語発達を主とした発達や育ちを基に指導計画を作成し、省察・改善することができる。 【創造的な保育や教育】言語の知識や言語能力の理解を踏まえて、未来を担う子どものための新たな教育・保育方法を模索することができる。
計画・内容	第1回 イントロダクション 環境と言葉の相関 第2回 音声言語の獲得 言語音の聞き分けと理解 第3回 指導案づくり 環境と音声言語獲得の視点を踏まえた指導案 第4回 日本語の文字への興味 書記言語を獲得することの意義 第5回 指導案づくり 文字への興味の視点を踏まえた指導案 第6回 言葉と気持ちの相関 語彙の獲得とプロセス 第7回 指導案づくり 語彙獲得の視点を踏まえた指導案 第8回 ことばの発達 育児放棄事例と言語の獲得 第9回 実践課題 教材研究の視点 第10回 実践課題 教材作成と課題まとめ 第11回 実践課題

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>教材活用のための練習 第12回 課題発表 パワーポイント発表 第13回 課題実践 模擬実習（部分実習） 第14回 課題実践 教材発表（園での自己紹介） 第15回 まとめ 理解度の確認：まとめ思考テスト（記述形式）</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>○各回テーマが異なるため、各回の授業目標と授業内で提示する設問について説明する時間をとる。各回のテーマごとに異なるメンバーで話し合いの時間を持ち、チームで考える時間と全体で共有しながら理解を深める時間を配分しながら授業を展開していく。また、各回の授業の最後に、ふりかえりのコメントシートを提出する。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>○学生どうしで考えの交流を行い、一つの課題について合意形成・課題解決をする時間を持つ（チームで話し合うアクティブラーニングの形式を導入）。また、授業ごとにコメントシートに「新しい発見」を記入し、ポートフォリオとしてふりかえり、学修の深まりを実感できるようにする。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>○各回テーマが異なるため、授業終了後の復習として、授業内容をまとめておくこと ○教科書である「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」を読み、記述内容の把握と理解をしておくこと ○課題作成の際にはメモなどを残し、きちんとポートフォリオとしてまとめ、後から振り返りができるようにしておくこと 合計15回で約60時間相当の予習及び復習の時間を持つこと</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>教科書：幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 参考書：幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説 小林晴美・佐々木正人『新・子どもたちの言語獲得』大修館書店</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>○授業参加及びコメントシート提出30%と課題実践と発表35%、まとめ思考テスト35%で総合的に評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>○コメントシートでのふりかえりを授業の最初に紹介し、疑問や質問から考えを深めていく時間を持つ。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>○CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>○考えを応答する時間や思考のアウトプットの多い授業となるため、体調やぐあいが悪いと十分な学びができなくなるので、健康に留意して授業に臨むこと。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方：Zoomによるオンライン授業にて実施する。 成績評価方法と基準：Zoom受講及びコメントシート提出30%と課題実践と発表35%、まとめ思考テスト35%で総合的に評価する</p>